

# 化学物質から健康被害を防ぐセミナーin いわき

私たちは知らず知らずの間に化学物質に囲まれて暮らしています。現在、日本国内で使用されている化学物質はおよそ6万種類ともいわれています。かつては公害を引き起こす原因になりました。今でも、トリハロメタン、ダイオキシン類、環境ホルモン物質など、私たちの生活に、不安を与える化学物質は多く存在します。また、シックハウス症候群や化学物質過敏症など、微量の化学物質の暴露によって、健康被害を受ける人たちはたくさんいます。

いわき市においても複数の市民が合成洗剤や柔軟剤の臭いにより、頭痛・吐き気などを訴え、その1人は東京の「そよ風クリニック」において、化学物質過敏症の診断を受けています。身体に取り入れた化学物質の排出と栄養を取ることが大切となっています。

国際的には、2002年のヨハネスブルグサミットで、「2020年までに化学物質による健康と環境への悪影響を最小化する方法で製造使用する」という2020年目標が採択され、SAICM（国際化学物質管理に関する戦略的アプローチ）世界行動計画に基づいて、日本でも化学物質管理制度の見直しが行われています。水と緑をはじめとする自然環境とのちと健康を守るために、よりよい化学物質の管理が求められています。

このたび、合成洗剤や柔軟剤など身の回りの化学物質とどう付き合い、健康被害を防ぐための対策について、いわき市民の皆さんと一緒に考えていきたいと思っておりますので、ふるって、ご参加ください。

## 記

日 時：3月6日（日）13時30分～16時

場 所：いわき市文化センター 1階 大講義室

内 容：①講 演「化学物質管理に関する2020年目標の達成をめざして」

②講 演「合成洗剤と石けん どこが問題か」

・中地 重晴氏（有害化学物質削減ネットワーク代表/熊本学園大学 教授）

③地域からの報告 「合成洗剤などによる化学物質過敏症被害と対策について」

・狩野 光昭氏（いわき市議）

④意見交換「化学物質とどう付き合いえばよいのか」参加者から

資料代：500円

問合先：Tウオッチ 03-5627-7520 [info@toxwatch.net](mailto:info@toxwatch.net)

社民党いわき総支部 0246-27-8700

※事前予約は必要ありません。お誘いあわせのうえ直接会場に参加ください。

主 催：特定非営利活動法人有害化学物質削減ネットワーク

（東京都江東区亀戸 7-10-1 Zビル5F）

共 催：社民党いわき総支部

有害化学物質削減ネットワーク（Tウオッチ）とは、2002年結成以来、2001年から日本で開始された「化学物質排出把握管理促進法」（P R T R法）に基づく有害化学物質の排出・移動量データの検証と、有害化学物質の排出削減のための提言及び行政・事業者・市民の三者による「リスクコミュニケーション」活動に取り組んでいる団体です。

※このセミナーは平成27年度地球環境基金の助成を受けています。